



翼



「心をつなぎ、主体性を育てるオンライン授業」

2月(如月)は1年の中で最も寒さが厳しい月ですが、暦の上では3日の節分、4日の立春と、春が始まります。寒い中でも日脚が伸び、春の植物が咲き始め、春を期待する月と言えます。

さて、新型コロナウイルスの新種オミクロン株の感染拡大のため、3年生は1月19日(水)から、1,2年生は1月25日(火)から、市内一斉にオンライン授業を行っています。入試を控えた3年生にとっては安心という生徒や保護者も多かったですが、しかしやはり友達と一緒にではないので、つまらない、学校で授業を受けたいという声も少なくありませんでした。

しかし感染者数の激増の中、できるだけ生徒の皆さんにとってよりよい学習となるよう、学びを止めない有効な方法としてオンライン授業を実施しました。朝学活、終学活では、担任の先生が一人一人に声をかけ、国語や道徳の授業では、生徒の皆さんの意見を交換し合い、他の人の意見を聞いて考えを深めることができました。また意見を出しにくい内容の場合は、画面上に付せんを張り付けて意見を出し合うなど、工夫をしています。学習する場所が離れていても、心と心がつながって、学習できるようにと考えています。数学の少人数では、できた!わかった!という思いを伝えあう場面もあって、一緒に空間で学習しているような一体感を味わっています。もちろん、繰り返して学習したいという生徒の要望にも応えられるよう、オンデマンドの授業も多くあります。

そしてオンライン授業では主体性を育むチャンスと捉えています。先生が声をかけ、友達の意見を聞くことがあっても、自宅で一人で学習することには変わりはありません。本校の教育目標「自ら学ぶ」という主体性がどの生徒にも培われるものと信じています。そのためには、授業を受けるそのものだけでなく、学習環境を整える、兄弟の面倒を見る、お昼ご飯をつくる等、学習以外にも中学生なら任される事がたくさんあると思います。周りの大人は、子どもを信じ、子どもに任せ見守り、変容を捉えて成長を褒める大人でありたいです。

■生徒の活躍

吹奏楽部 第55回東京都中学校アンサンブルコンテスト(府中の森芸術劇場)金賞 管楽8重奏
第45回東京都アンサンブルコンテスト代表出場

■行事の中止や変更について、大変残念ですが以下の通りといたします。

○3月に予定していました、合唱祭は中止とさせていただきます。

○2月下旬に予定していた3年生の修学旅行は中止し、3月に校外学習を計画する予定です。

校長 井上 雅子



■学校評価アンケートのまとめ

第二回の学校評価アンケートを1月に実施いたしました。アンケート項目のうち生徒、保護者、教員の結果を比較できるものについてまとめました。（数字は「そう思う」「どちらかという」と「そう思う」を合わせたものです。また、第一回→第二回となっています）

- 生徒は学校に行くのが楽しい
【生徒】86%→89% 【保護者】87%→85%
- 学校はわかりやすい授業をすすめるための様々な工夫をしている
【生徒】96%→95% 【保護者】72%→70% 【教職員】88%→96%
- 時間、挨拶、言葉遣いなど集団のルールやマナーを守り規則正しい学校生活を送っている
【生徒】95%→96% 【保護者】82%→82% 【教職員】100%→100%
- 学校でいじめられたり、無視されたりすることなく安心して活動できる
【生徒】97%→99% 【保護者】75%→77% 【教職員】100%→100%
*教職員については、「生徒がいじめられたり無視されたりすることなく安心して活動できるように教員間で生徒情報の共有を積極的に行っている」という質問です。
- 学校は日頃から生徒からの相談に積極的に応じている
【生徒】96%→97% 【保護者】64%→63%
- お互いが協力して、生徒会活動、委員会活動、学級の班や係活動に前向きに取り組んでいる
【生徒】95%→97% 【保護者】87%→89% 【教職員】91%→100%
*教職員については、「学校は生徒が学年・学級への所属感や自己有用感をもてるように学校行事や生徒会活動、部活動を充実させている」という質問です。
- 学校は進路や職業の学習により自分の将来や「夢の実現」に向けた取り組みや指導をしている
【生徒】85%→86% 【保護者】67%→69% 【教職員】96%→95%
- 学校は、学校、学年日より、学校HPなどを充実させ学校の取組や生徒の様子を発信している
【生徒】96%→98% 【保護者】86%→89%

ほとんどの項目で、おおむね肯定的な意見をいただいていること、第二回の数字が第一回より若干上がっていることは評価できると考えます。しかし「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を分けて「そう思う」だけを見ると、「学校へ行くのが楽しい」では、生徒は「そう思うが」41%、保護者は38%であり、昨年から多くの行事の中止、オンライン授業等で、学校生活の楽しみが少なくなっていることが考えられます。また「学校はわかりやすい授業を進めるために工夫をしている」では、生徒は「そう思う」が49%、保護者は17%、「学校は日頃から生徒からの相談に積極的に応じている」では、生徒は「そう思う」が56%、保護者は18%であり、授業改善と生徒に寄り添う教職員の姿勢については、まだまだ課題があると厳しく受けとめなければなりません。

しかし「学校でいじめられたり、無視されたりすることなく安心して活動できる」という項目では、保護者は25%で少なくはありますが、生徒の「そう思う」は80%と、本校がいじめがなく安心して安全な場所であると8割以上の生徒が感じていることについては評価できると考えています。もちろん「そう思わない」生徒については、今後も、日常の観察と聴き取りによるいじめやトラブルの早期発見、生徒への教育的な支援を全校をあげて行ってまいります。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、学校行事が中止され、学校公開など学校の教育活動を知っていただく機会が少なく、評価することが難しかったのではないかと思います。そんな中でアンケートの回収率は73%と多く、保護者の皆さまのご協力に感謝いたします。また今年度は答えに「わからない」という項目を入れ、アンケートの答え難さを解消し改善したため、保護者のアンケートでは、昨年より「そう思う」「どちらかという」と「そう思う」が減少しています。詳しいデータはホームページ等に公開いたします。